

【概要】

2016年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第2回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2017年4月に実施し、その結果を取りまとめたものです。
(回答数:1,500件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」の希望割合が増加し、「変動型」及び「固定期間選択型」の希望割合が減少<p. 3>

- ・「全期間固定型」は37.4%(前回調査:32.7%)と増加
- ・一方、「変動型」は25.3%(前回調査:29.5%)、「固定期間選択型」は37.3%(前回調査:37.8%)と減少

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、全体では「現状よりも上昇する」が増加<p. 4>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「現状よりも上昇する」が34.0%(前回調査:27.7%)、「見当がつかない」は、18.9%(前回調査:18.2%)と増加。
- ・一方、「ほとんど変わらない」の割合は、38.3%(前回調査:44.7%)、「現状よりも低下する」は、8.8%(前回調査:9.4%)と減少

3 住宅の買い時意識が低下<p. 7>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ方の割合は、41.9%と前回調査(44.1%)より減少
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が83.3%(前回調査:86.1%)、「消費税率引上げ前だから」が33.3%(前回調査:34.9%)と大半を占める。